

春季野球大会開幕



新調の優勝旗はいずこへ!

珍しい話題などがあ
りましたら
ぜひ御連絡ください

ひろば



期待を背に、ねらうぞホームラン

球史に残る熱戦のドラマを展開してきた「町春季野球大会」。今年は5月18日に町運動広場をメイン会場に開幕しました。第10回を迎えたこの大会からお目見えした、豪華な優勝旗をめざして、緒戦から伯仲した試合が繰り広げられました。参加チームは26、1か月の長期戦に残るは果してどこのチームでしょうか。



力投の成果は



セーフか、アウトかノ判定は?

歌壇



那須 清江
凶星とよばふハレーの本体を
今チヨットがあばきゆくなり
萩原 信一
二年後は金婚式と妻はいひ
今宵しみじみすぎこし語る
吉岡 信子
仏前のくれなきひきよき蠟の火に
写絵となりし夫の仰ぎるつ
秋葉 とく
黒田節弾く妹の三味線は
いつか調べもたしかとなりぬ
掛川 友代
昨日は本今日折紙と買ひ持ちて
看取りに来る娘を病床に待つ

北田 ふじ
腰痛の癒えしも東の間右腕の
まはらぬを医師は年波と言ふ
向後 泰治
落米をあさりと啼ける雀らは
代る代るに話しあふごと
斉藤 要
みずからの意志に嫁ぎてくると
いふ車椅子の甥に婚の近づく
斉藤 幸子
セツトして美容院より帰りたる
姑の笑顔に目もて応へる
佐瀬 初音
祖母のするさまを真似して幼き
はいぼ神様に石を積みをり
藤代 ゆう
アフリカに放送施設をつくらむ
と使命持つ息は空を翔びゆく
伊藤 美穂
人の身は生れながらに定まるか
晩年をかく独り生くとは
津田 若菜
裡に持つ思ひを告ぐる人も逝き
花冷えの室の暗きにゐたり
土屋 栗水
子等育ていまは独りで暮すひと
句を生きがひと訪れくるる
(選者) 斉藤つね子
舟底に投げられ躍る大鯉の
紅きはらごは迷りいづ

訂正とおわび

前号ひろばのページ中、入学式「3月7日」とあるのは「4月7日」の誤りです。